

障害福祉サービス共通評価基準① 〔障害者／施設、グループホーム〕 (※就労系サービスも含む)

1 人権への配慮

「個人が尊厳をもってその人らしい自立した生活が送れるよう支援する」という理念に基づき、①事業所の理念や基本方針が明示され職員に認識されているか、②利用者の人権が擁護され、主体的な利用が可能となっているか、③人権侵害を決して起こさないための体制ができているか、④プライバシーが保護されているかといったことをここでは評価します。

また、日々の営みや活動においては、利用者の意向を尊重し、見守りと支援の姿勢を持って生活範囲が広がるように絶えず努力し、事業所で提供するサービスが利用者のニーズに応えるものとなっているかというサービス提供者の姿勢が明確に示される必要があります。さらに苦情解決や必要な改善を行う体制が確立されているかという点も重要な評価対象となります。

中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1)人権の尊重	①サービス提供の理念や基本方針が明示され、それらが事業計画等に具体化されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1.理念や基本方針は、明文化され、公表されている。 ■ 2.理念や基本方針は、法人役員と全ての職員に配布されている。 ■ 3.理念や基本方針は、利用者主体の考え方に基づいている。 ■ 4.理念や基本方針は、事業計画や職員の倫理綱領等に反映され、かつ具体化されている。 ■ 5.理念や基本方針は、必要に応じて見直されている。 	
	②職員の接し方は、利用者一人ひとりの尊厳を守っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1.接し方(年齢や状況に応じた呼称・言葉づかいを含む)については、指針又はマニュアルが整備されている。 ■ 2.接し方を点検・改善するための検討会議や研修が設けられている。 <input type="checkbox"/> 3.禁句を含む厳守事項については、職員に対して明確に示されている。 ■ 4.入浴や排泄等の介助は、同性介助を原則とし、介助者や介助方法については利用者の意向を尊重して決めていく。 	保護者が介助している。
	③市民としての基本的権利行使への配慮と支援がなされていますか。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1.選挙権行使については、マニュアルが整備され、利用者の意思に基づく支援が行われている。 <input type="checkbox"/> 2.郵便局、銀行、権利擁護機関、ボランティア団体等、地域の社会資源を利用したい場合の支援体制は利用者に明確に示されている。 <input type="checkbox"/> 3.電話その他の通信機器が利用し易いように設置されている。 <input type="checkbox"/> 4.電話その他の通信機器の個人所有ができる。 <input type="checkbox"/> 5.手紙や電話などの取り次ぎは速やかに行われている。 <input type="checkbox"/> 6.信仰する自由・しない自由がある。 <input type="checkbox"/> 7.交際したり・結婚する自由がある。 	利用者が未就学児のため、この領域の項目は該当しない。
9項目中 7項目 評価結果 A ・B・C			
(2)プライバシーの保護	①プライバシーに配慮した事業所運営を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1.プライバシーを保護するための留意事項が、それぞれのサービスのマニュアルの中に示されている。 ■ 2.個人情報の取り扱いや守秘義務(安易に他の利用者のことを話してはならないことも含む)についての規定がある。 ■ 3.ボランティア・実習生・見学者等の受け入れに際しては、プライバシーの保護について方針を示し、これは確実に守られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4.共同利用方式の電話等では、プライバシーを守るための配慮がなされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 5.手紙や電話等については、通信の秘密が守られている。 ■ 6.プライバシーを保護するため、建物・設備その他の環境について、必要な改善は速やかになされている。 	利用者が未就学児のため、共同利用方式の電話や手紙の利用はない。
	4項目中 3項目 評価結果 A ・B・C		
(3)人権の擁護	①体罰・虐待等(拘束、暴言、暴力、無視、放置等)の人権侵害の防止策、及び万一に備えた対応方法が定められていますか。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1.体罰・虐待等については、具体的な例を示した上で禁止している。 <input type="checkbox"/> 2.体罰・虐待については、就業規則・職務規程及びマニュアル等に明文化している。 ■ 3.体罰・虐待については、日頃からミーティングや会議等で取り上げ、常に確認している。 <input type="checkbox"/> 4.利用者と接する場面で体罰・虐待等が起きないように、接し方等の研修を行っている。 <input type="checkbox"/> 5.万一、体罰・虐待等が行われた場合の対応について規定が設けられている。 	日頃から、確認している事項であるが、マニュアル等の明文化や研修は実施していない。
	②事業所利用は、相談や苦情申し立てができる体制になっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1.苦情の申し立ては、利用者のみならず、家族や利用者が信頼している第三者からもできる体制になっている。 ■ 2.相談・苦情申し立てについては、担当者が決まっており、そのことが利用者や家族等に文書をもって知らされている。 	

		<ul style="list-style-type: none"> ■ 3.相談・苦情に基づいて改善を求められた事項については、申立て人に説明することが義務づけられている。 ■ 4.苦情の申し立てについては、職員のほかに、第三者も入れて解決する仕組みを取り入れている。 ■ 5.相談・苦情が事業所単独で解決困難な場合、外部の権利擁護機関や相談機関に協力を求めている。 <input type="checkbox"/> 6.利用者や家族等に対して、外部の権利擁護機関や市町村の相談窓口の存在と役割を情報提供している。 	
11項目中 7項目		評価結果 A (B) C	
(4)利用者本位・自立支援	①利用者の主体的な意見を尊重していますか	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1.利用者の意見の聞き取りをおこなっている。 ■ 2.利用者からの提案、申し入れのシステムがある。 <input type="checkbox"/> 3.利用者に変更事項に関して意見を求めている。 ■ 4.定期的なアンケートを採り入れている。 ■ 5.本人の意思決定を尊重している。 	利用者が未就学児のため、保護者の意見を尊重して対応している。
	②利用者の主体的な活動を支援していますか	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1.行事や旅行などのプランを利用者と一緒に企画する。 <input type="checkbox"/> 2.ピアカウンセリングやワークショップを利用している。 <input type="checkbox"/> 3.利用者自治会等の運営に対して、見守りと支援をおこなっている。 <input type="checkbox"/> 4.障害当事者活動に積極的支援をおこなっている。 	
	③利用者の主体的な社会参加を支援していますか	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1.地域資源の活用に向けて情報提供をおこなっている。 <input type="checkbox"/> 2.地域社会との積極的な交流を支援している。 <input type="checkbox"/> 3.個人の意志に基づく社会参加をおこなっている。 <input type="checkbox"/> 4.移動や外出支援のシステムを持っている。 <input type="checkbox"/> 5.外泊支援のシステムを持っている。 	
	④わかりやすく情報を提供していますか	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1.情報提供については、わかりやすい工夫がされている。 <input type="checkbox"/> 2.理解度にあわせた説明やパンフレットが用意されている。 ■ 3.コミュニケーションの取り方を工夫している。 <input type="checkbox"/> 4.IT等の機器を活用している。 	
	⑤利用者の日常生活上の自立行為に対する見守りと支援の体制は十分ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1.利用者の日常生活上の自立行為について、見守りの姿勢を保ち、必要な時には迅速に支援するという方針を会議等で確認している。 <input type="checkbox"/> 2.日常生活上の自立行為への介助に関する判断については、あらかじめ利用者(及び必要に応じて家族等)と十分な話し合いが行われている。 <input type="checkbox"/> 3.自立行為による生活と活動の範囲が広がるように、職員の対応や事業所の整備は常に検討されている。 	
9項目中 6項目		評価結果 A (B) C	

2 利用者に応じた個別支援プログラム

事業所の利用を希望する人達の個別ニーズは、自立生活や職業的自立を目指すとか、事業所内で安定した生活を実現したい等というように、多種・多様です。事業所の側はこうした利用者の個別のニーズに応えられるかどうか、事業所種別や事業所機能を含めて検討し、自らの事業所を利用に供することができるかどうか判断しなければなりません。

また、事業所サービスの全てにおいて、利用者の生活の質(QOL)を重視し、さらには自立を目指すエンパワメントの視点も忘れてはなりません。

ここでは、これら2つの視点を基礎として、障害の内容や程度に拘わらず、利用者一人ひとりに個別支援が行われているか否かを評価します。まず、事業所利用の希望が示されると相談面接が行われます。そこで利用者の要望が明らかにされ、事業所側は、自らの基本方針やサービスの内容を説明します。利用が決定したら、事業所は、担当職員あるいは担当チームを決め、利用者や必要に応じて家族等とも相談しながら、個別支援計画を策定します。事業所利用の開始とともに、個別計画に基づくサービスが提供されますが、そのサービスは利用者の要望を満たすものになっているか否か絶えずチェックされる必要があり、その結果、個別計画は見直しされることもあります。

ここでは、こうした一連のサービスの提供過程に関する事項を評価します。

中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト	
(1)事業所利用の相談と選択	①利用者や家族等には事業所サービスの内容を十分理解した上で、事業所利用を選択するように支援していますか。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1.相談面接では、事業所の基本方針・利用条件・サービス内容等について、資料や文書に基づいて説明している。 □ 2.事業所を案内するだけでなく、体験する機会(注:事業所として独自に工夫しているサービス)を設けている。 □ 3.相談面接で明らかとなった、利用者の要望事項等を記録するとともに、記録した事項は、利用者(及び必要に応じて家族等)の確認を得ている。 ■ 4.他の事業所等の利用が望ましいと考えられる場合には、利用者(及び必要に応じて家族等)の了解を得て、連絡・依頼・紹介状の作成等を行い、必要な場合には同行して引き継ぐようにしている。 		
		4項目中 2項目 評価結果 A・ B ・C		
(2)個別支援計画の策定	①個別支援計画の策定にあたっては、利用者の状況を十分に把握していますか。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1.利用者(及び必要に応じて家族等)の要望を所定の様式で記録している。 ■ 2.利用者自身の身体的・心理的・社会的状況を把握し、その評価(アセスメント)内容を所定の様式で記録している。 ■ 3.事故や病気を防止するために利用者の行動の特徴や健康上の留意事項を確実に把握している。 		
	②個別支援計画の策定や見直しのために会議等を開催していますか。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1.個別支援計画策定のために、会議等を開催している。 ■ 2.個別支援計画の見直しを検討するための会議が定期的に行われている。 ■ 3.緊急に計画の見直しが必要な場合は随時会議・検討会を行っている。 ■ 4.会議の内容は、所定の様式により記録・保存されている。 ■ 5.会議には、関係職員のほか、利用者(及び必要に応じて家族等)も参加することができ、意見を反映している。 		
	③個別支援計画の内容は具体的で、同時に利用者(及び必要に応じて家族等)との合意が得られていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1.所定の様式により、個別支援計画は書面で示され、支援の目標・方法・期間等が具体的に記載されている。 ■ 2.利用者(及び必要に応じて家族等)の参加・不参加に拘わらず、個別支援計画の決定は利用者(及び必要に応じて家族等)の同意のもとに行われている。 □ 3.個別支援計画は、利用者が生活する地域の福祉サービスや社会資源を活用するような内容になっている。 		
		11項目中 10項目 評価結果 A ・B・C		
(3)個別支援計画の実施	①提供されているサービスは、個別支援計画に基づいて行われていますか	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1.支援計画に基づくサービスの目標や方法を利用者(及び必要に応じて家族等)に対して、具体的に説明している。 □ 2.個別支援計画に基づき提供される各種サービスは、マニュアル化されている手順に従って提供されている。 ■ 3.提供されたサービスは、その内容、実施日時、回数、結果等が確実に記録されている。 		
	②サービスの適否を確かめ、必要に応じて改善を図っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1.所定の手順に従ってサービスの適否を日常的にチェックし、利用者の満足が得られているか否かを確かめている。 ■ 2.サービスが不適切であったり、利用者の要望にできていない場合には、速やかに見直しが行われ、改善が図られている。 □ 3.改善しても十分な結果が得られない場合、新たなサービスの開発を試みるとか、他の事業所等を利用することなども検討することにしている。 		
		6項目中 4項目 評価結果 A・ B ・C		
(4)地域生活への移行	①地域生活を身近なものに感じられるよう、いろいろな機会や情報を提供していますか	<ul style="list-style-type: none"> □ 1.グループホーム等の見学や体験的利用ができるように、情報や資料を用意している。 □ 2.地域生活に関しての利用者の相談に応じたり、利用者自身の学習を支援している。 		
		②必要に応じて、地域生活への個別移行計画が策定されていますか。(注:家族等のもとから通所していた利用者が単身生活等を希望する場合を含む)	<ul style="list-style-type: none"> □ 1.地域生活に関する利用者の意向を、折りに触れて確かめるように努めている。 □ 2.地域生活への移行計画の策定に際しては、地域の関係機関からも協力を得ている。 □ 3.策定された個別移行計画は、利用者の合意に基づいている。 	

	③個別移行計画の内容は、無理なく地域生活に適應できるものですか。	<input type="checkbox"/> 1.実際に移行する場合には、そのための支援プログラムが用意されている。 <input type="checkbox"/> 2.地域生活への移行支援では、できる限り利用者が主体的に生活設計するよう配慮している。 <input type="checkbox"/> 3.一定の期間は、試験的に地域生活を経験することのできるプログラムがある。 <input type="checkbox"/> 4.近隣の住民には、必要に応じて、利用者に対する理解と協力を求める機会を設けている。	
		9項目中 項目 評価結果 A・B・C	
(5)退所後の支援	①退所後のアフターケアを実施していますか。	<input type="checkbox"/> 1.利用者の了解を得て、退所後も定期的に連絡し合う体制を設けている。 <input type="checkbox"/> 2.退所後の、緊急事態等の場合に備え、相談窓口(担当者)を置いている。 <input type="checkbox"/> 3.退所者を支える組織(例えば、退所者の会や家族会等)を育成し、事業所もこれに協力している。	
		3項目中 項目 評価結果 A・B・C	
(6)エンパワメントの視点	①利用者のエンパワメントの理念に基づくプログラムがありますか。	<input type="checkbox"/> 1.社会生活力を高めるために、障害の理解や調理・洗濯・買い物・交通機関利用等についての学習・訓練プログラムが用意されている。 <input type="checkbox"/> 2.事業所外の社会資源について、十分な情報が提供され、そのための学習や体験の機会が設けられている。 <input type="checkbox"/> 3.必要に応じて、自己表現の技能や話し方について支援している。 <input type="checkbox"/> 4.利用者自身が人権意識を高められるように、情報や資料の提供を行っている。	
		4項目中 項目 評価結果 A・B・C	
(7)家族との連携	①家族には日常的に情報が提供され、必要な場合はいつでも連絡できますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.面接・訪問・連絡ノート・事業所だより等を介して、家族には組織的に情報が伝えられ、また家族からの情報も得られるようになっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2.家族が希望する場合は、生活や活動の様子を随時見ることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 3.家族向けの広報紙発行や、家族向けの講演会や学習会等を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 4.事業所利用とは直接関係ない事柄でも、家族からの相談には幅広く応じている。	
	②帰宅中の利用者と家族のためにも支援していますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1.休日や帰宅中の過ごし方については必要に応じて利用者及び家族等と話し合いながら主体的な生活が営めるように支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自宅での生活に際しては、地域の社会資源を有効に利用するように、あらかじめ必要な情報を収集し、提供している。 <input checked="" type="checkbox"/> 3.帰宅中の生活では、利用者の生活の質(QOL)をより高められるよう利用者や家族と協議して具体的なプログラムを用意している。	
		7項目中 7項目 評価結果 A・B・C	

6 地域との連携

通所・入所を問わず、事業所は地域の中の社会資源として存在します。当然、その利用者は、もともとそれぞれの地域に属する一員ですが、同時にその事業所が属する地域の一人として大切な存在になります。そうした事業所利用者が、その地域の人々と好ましい関係を作ることは、自立への大切なプロセスであり、同時に、それは事業所と地域の相互交流の架け橋になることを意味します。

事業所は、地域住民からみれば、しばしば貴重な社会資源です。事業所の持っている機能は、単に利用者のものではなく、地域の人々にとっても活用できるものと考えられるからです。一方、事業所の側からみれば、地域との連携を深めることによって、そのサービス機能はさらに充実・向上するものです。

ここでは、地域に開かれた事業所であるか否か、そして、その結果、利用者のニーズをより効果的に満たしているか否か、ということを評価します。

中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1) 地域との交流	①地域への事業所に対する理解促進と地域への事業所開放を図っていますか。	<input type="checkbox"/> 1. 地域へ事業所を開放するための規定を設け、事業所開放を実施している。	利用者が就学前児であり、まずは保護者が安心して通園できる環境に配慮して、今のところ、地域との交流は計画していない。
		<input type="checkbox"/> 2. 地域の人達に事業所の開放や、備品の貸し出し等をしている。	
		<input type="checkbox"/> 3. 地域の人達に障害者や福祉を理解してもらうための講習会・研修会を開催している。	
		<input type="checkbox"/> 4. 介護技術講習等の地域住民の生活に役立つような、講習会等を開催している。	
<input type="checkbox"/> 5. 地域の人達のボランティアを積極的に歓迎している。			
<input type="checkbox"/> 6. 事業所の様々な行事への参加を地域の人達に呼びかけている。			
②利用者は地域の行事に参加できますか。	<input type="checkbox"/> 1. 地域の情報を収集し、これを利用者に提供している。		
	<input type="checkbox"/> 2. 利用者の地域活動への参加を支援するという方針があり、職員や家族に文書により知らされている。		
	<input type="checkbox"/> 3. 必要があれば、地域の行事参加に職員やボランティアの支援を求めることができる。		
③他事業所を含む地域との交流を進めていますか。	<input type="checkbox"/> 1. 親善試合や見学・旅行といった、スポーツやレクリエーションを通じて、他の事業所との交流を行っている。		
	<input type="checkbox"/> 2. 利用者は、地域の人達と企画の段階から、様々な行事・スポーツ・レクリエーション等に参加している。		
④地域に事業所の情報を伝えていますか。	<input type="checkbox"/> 1. 広報紙等の定期刊行物は、担当の職員によって計画的・継続的に発行されている。	広報紙の発行について検討をはじめている。	
	<input type="checkbox"/> 2. 広報紙は、地域の人達をはじめ、利用者、家族、ボランティア、関係諸機関等に定期的に配布されている。		
	<input type="checkbox"/> 3. 事業所紹介のビデオやパンフレットを作成し、これを地域の住民や関係機関に提供している。		
	<input type="checkbox"/> 4. 地域の住民や関係機関を対象として、事業所で行われている作業や訓練等の活動について紹介する機会を持っている。		
15項目中 0項目 評価結果 A・B・C			
(2) 地域生活支援サービスの実施	①事業所ないし法人は何らかの地域生活支援サービスを行っていますか。	<input type="checkbox"/> 1. 地域生活の一形態である福祉ホームやグループホームを設置運営している。	
		<input type="checkbox"/> 2. 地域生活を支援するホームヘルプ・サービス、デイサービス、ショートステイ等の在宅サービスを行っている。	
		<input type="checkbox"/> 3. 在宅障害者のための相談事業を行っている。	
		<input type="checkbox"/> 4. その他、自治体独自又は法人独自の地域生活支援事業を行っている。	
4項目中 項目 評価結果 A・B・C			
(3) ボランティアの受け入れと育成	①ボランティアの受け入れや受け入れのマニュアルが用意されている。	<input type="checkbox"/> 1. ボランティア育成を積極的に行っている。	現在は、感染対策のため、ボランティアの受け入れを行っていない。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2. ボランティア受け入れは、所定の様式で記録されている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3. 受け入れと育成の担当者(ボランティアコーディネーター等)が決められており、責任の所在が明確にされている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4. ボランティアの受け入れに際しては、あらかじめ利用者や職員に趣旨を説明している。	
		<input type="checkbox"/> 5. ボランティアの意見や指摘事項を事業所運営に反映させている。	
		<input type="checkbox"/> 6. ボランティア育成のため、ボランティア講座や体験学習等を計画的に実施している。	
6項目中 3項目 評価結果 A・B・C			
(4) 地域内の諸機関との連携	①地域の諸機関との連携は適切ですか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 関係機関(福祉事務所、児童相談所、保健所、職業安定所、学校等)や地域内の諸事業所とは定期的に情報交換のための連絡会を開催している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 2. 連携のための窓口(担当者)が決められている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3. 関係機関とは日頃から情報交換を行っている。	
3項目中 3項目 評価結果 A・B・C			

7 役員及び職員の研修

事業所は、社会や個人のニーズに基づき福祉サービスを提供します。そして、利用者に具体的なサービスを提供するのは、一人ひとりの職員です。しかし、職員はそれぞれ単独で存在するわけではなく、事業所という組織を形成する一員として存在しています。そこでは、基本理念に支えられた組織の中の職員が事業所の提供する機能のそれぞれを分担しています。その組織を統括し、代表するのが事業所管理者(施設長)です。

事業所の良し悪しは、そこで提供される福祉サービスによって決まりますが、それは、管理者を含む事業所職員一人ひとりの力量に由来します。ここでは、資質向上に関する事業所の努力や実態を評価します。

中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ント	
(1) 事業所内研修	①事業所内研修は計画的に実施されていますか。	<input type="checkbox"/> 1. 役員及び職員が事業所の基本理念や方針を理解し、その目的達成のために研修を計画的・継続的に行うよう、年度毎に研修計画が策定されている。 <input type="checkbox"/> 2. 研修の具体的な立案・実施のために研修担当者を決めている。 <input type="checkbox"/> 3. 新規採用者、中堅職員、管理者、専門職種等、それぞれの立場に応じた研修マニュアルを策定している。	小児保健医療センターとして、感染対策や医療安全、虐待防止などに関する研修を行っているが、療育部門として事業所内研修を計画していくことが課題となっている。外部機関の行う研修には参加できる体制はある。	
	②サービス内容向上のための研修を積極的に行っていますか。	<input type="checkbox"/> 1. 個別支援会議(ケース会議、ケア会議等)とは別に事例検討会を職員の研修として実施している。 <input type="checkbox"/> 2. 新しいサービス技法や様々な実践の成果について常に情報収集を行い、必要に応じて外部から講師を招いて、有効と思われる知識・技術の導入に努めている。 <input type="checkbox"/> 3. 福祉の動向、障害者観の変遷、社会的支援の新たな制度や事業については、資料を添えて幹部職員ができるだけ詳しく説明している。		
	③先駆的な取り組みに学んで事業所運営をしていますか。	<input type="checkbox"/> 1. 職員研修に、他事業所の見学や実習を積極的に取り入れている。 <input type="checkbox"/> 2. 福祉学会等の実践報告会に積極的に報告者として参加している。 <input type="checkbox"/> 3. 他事業所又は研究機関・研究者と共同で共同研究等を行っている。		
9項目中 0項目 評価結果 A・B C				
(2) 事業所外研修	①外部機関の行う研修に参加させていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 学会・各種研修・研究会等に職員を参加させている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 専門資格取得のために勤務時間の面等で配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 研修参加者は事業所内の報告会にて伝達講習を行うことを原則としている。		
	3項目中 3項目 評価結果 A ・B・C			

8 緊急時の対応

事業所には利用者の生命・財産を守るという使命があります。日常的なサービス提供の中でも、あるいは非常事態においても、その使命は変わりません。従って、不断の事業所設備の充実が必要不可欠であります。そして、日常の事業所運営においては、非常事態における生命・財産の保護に備えた体制整備が求められます。ここではそうした視点からの事業所機能を評価します。

中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1)火災や震災等への対応	①事業所として火災や震災への対応は適切ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1. 最低基準ならびに消防法に示される防災対策は確実にやっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 上記法令に止まらず、事業所独自の内容を盛り込んだ防災規定と利用者への対応マニュアルを策定している。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災規程とマニュアルに基づいて、定期的に避難等の訓練が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 訓練結果に基づいて、防災対策の点検と見直しが定期的に行われている。 <input type="checkbox"/> 5. 利用者の外出・外泊・帰宅時に発生した災害にも備えて、連絡方法や支援体制を策定している。 <input checked="" type="checkbox"/> 6. 事業所周辺の危険度(崖崩れ等)調査や施設建物の耐震診断等、事業所の安全性について点検と対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 7. 緊急時のために食料、医薬品、日用品等を備蓄し、定期的に点検している。 <input type="checkbox"/> 8. 損害保険等に加入している。 	
		8項目中 5項目 評価結果 A・B・C	
(2)事故や急病への対応	①利用者の事故や急病への対応は十分ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1. 起こり得る様々な事態(例えば、てんかん発作や怪我等)を想定して、対応マニュアルが作られている。 <input type="checkbox"/> 2. 家族等への連絡についても、その手順がマニュアルとして用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事故や急病を想定した訓練が定期的に行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 事故や急病の場合、緊急対応を終えたら速やかに報告書を作成することが義務づけられている。 <input type="checkbox"/> 5. 緊急時には、休日・夜間でも医療が確保されるように、特定の医療機関と提携している。(ここでは、単身で通所している利用者から、緊急の相談が事業所や職員にくる場合等も想定している) <input type="checkbox"/> 6. 利用者一人ひとりに健康管理票(ないしカード)が作成されており、緊急受診の際に利用者の状況を的確に伝えることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 7. 職員には、必要な救急法の研修を行っている。 	すべての利用者は小児保健医療センターの診療部門の受診しており、カルテ情報を共有できる。
		7項目中 4項目 評価結果 A・B・C	
(3)緊急時の協力体制	①関係機関との連携が図られていますか。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 警察署、消防署、その他行政機関等と情報交換、連絡・協力体制を作っている。 <input type="checkbox"/> 2. 地域の自治会や団体等と情報交換、連絡・協力体制を作っている。 <input type="checkbox"/> 3. 地域の団体や機関と共同で防災訓練を行っている。 <input type="checkbox"/> 4. 大規模災害の場合には、事業所が、地域の罹災者を受け入れる臨時避難施設になることを想定し、対応マニュアルが用意されている。 	療育部門単独での連携はない。
		4項目中 0項目 評価結果 A・B・C	

9 組織・運営・管理

事業所は事業所の理念を持ち、それをの利用者や家族、職員はもちろんのこと、地域にも明示しなければなりません。その理念の具現に向けて事業をするとき、民主的な組織や運営および管理であることが重要です。
ここでは、事業所の理念と民主的な組織・運営・管理という視点から評価します。

中項目	小項目(質問項目)	着 眼 点	コ メ ン ト
(1) 組織・運営	① 理事会（運営協議会）及び評議員会は実質の機能を果たしていますか。	<input type="checkbox"/> 1. 理事会（運営協議会）及び評議員会は定期的開催されている。	県立施設のため、理事会および評議委員会は設置していない。
		<input type="checkbox"/> 2. 理事（運営委員）は事業体の経営に実質責任を果たしている。	
		<input type="checkbox"/> 3. 理事会（運営協議会）は高い経営能力、事業企画力を持っている。	
		<input type="checkbox"/> 4. 理事会（運営協議会）と評議員会は、その役割と機能が明確に確認されている。	
		<input type="checkbox"/> 5. 理事会（運営協議会）もしくは評議員会に家族代表が入っている。	
		<input type="checkbox"/> 6. 理事会（運営協議会）もしくは評議員会に職員代表が入っている。	
		<input type="checkbox"/> 7. 理事会（運営協議会）もしくは評議員会に利用者代表が入っている。	
		<input type="checkbox"/> 8. 権限が特定の個人に集中していない。	
	② 諸規程や日誌等を整備していますか。（共同作業所）	<input type="checkbox"/> 1. 運営規則を整備している。	
		<input type="checkbox"/> 2. 運営規程を整備している。	
		<input type="checkbox"/> 3. 就業規則を整備している。	
		<input type="checkbox"/> 4. 利用者名簿を整備している。	
		<input type="checkbox"/> 5. 金銭出納簿を整備している。	
		<input type="checkbox"/> 6. 設備備品台帳を整備している。	
		<input type="checkbox"/> 7. 作業日誌を整備している。	
		<input type="checkbox"/> 8. 証拠書類綴を整備している。	
	③ 将来構想はありますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 事業体の将来構想を策定している。	小児保健医療センター全体として策定している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 2. 将来構想は、短期・中期・長期のそれぞれの構想がある。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 3. 将来構想にそって年度事業計画をたてている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 4. 将来構想にそって年度事業計画を実行している。	
	④ 職員会議が開かれていますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 職員会議は定期的に行われている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 2. 職員会議で職員は議題に関して対等に自由に活発に議論をしている。			
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 職員会議できめられたことは、全員一致してとりくんでいる。			
⑤ 利用者の会（自治会）がありますか。	<input type="checkbox"/> 1. 利用者の会（自治会）がある。	利用者が未就学児のため、利用者の会を設置していない。	
	<input type="checkbox"/> 2. 利用者の会（自治会）の活動は活発である。		
	<input type="checkbox"/> 3. 利用者の会（自治会）でメンバーは対等な立場で自由に意見を述べている。		
⑥ 家族会がありますか。	<input type="checkbox"/> 1. 家族会がある。	保護者会があり、活動を支援している。	
	<input type="checkbox"/> 2. 家族会の活動は活発である。		
	<input type="checkbox"/> 3. 家族会で家族は対等な立場で自由に意見を述べている。		
⑦ 後援会がありますか。	<input type="checkbox"/> 1. 後援会がある。	後援会は設置していない。	
	<input type="checkbox"/> 2. 後援会の活動は活発である。		
	<input type="checkbox"/> 3. 後援会で会員は対等な立場で自由に意見を述べている。		
7項目中 7項目		評価結果 (A)・B・C	

(2)情報公開・啓発	①事業体の情報が公開されていますか。	■ 1. 事業体の情報は公開している。	県立施設として情報は公開されている。
		■ 2. 情報は広く地域に公開されている。	
		■ 3. 地域への情報の公開にあたり、透明性を高める努力をしている。	
		■ 4. 財務情報が公開されている。	
		■ 5. 事業体の将来構想を地域に公表している。	
		■ 6. 事業体の将来構想が地域のニーズに合ったものとして受け止められている。	
		<input type="checkbox"/> 7. 地域の人々との交流の機会を積極的にもっている。	
		<input type="checkbox"/> 8. 障害のある人の状況を絶えず地域に知らせ、障害者福祉の充実に向けて地域とともに歩む姿勢をとっている。	
8項目中 6項目 評価結果 (A)・B・C			
(3)人事管理	①人事管理の体制が整備されていますか。	■ 1. 職員の採用・異動等、人事に関する方針が定められている。	
		■ 2. 定期的に人事考課を実施している。	
		■ 3. 人事考課において、客観性・公平性・透明性を確保するための工夫をしている。	
		■ 4. 職員に対する福利厚生事業を行っている。	
4項目中 4項目 評価結果 (A)・B・C			
(4)財務管理	①予算管理が適切に行われていますか。	■ 1. 事業計画を実施するために必要な予算編成がなされている。	
		■ 2. 予算編成にあたり職員の意見を聞いている。	
2項目中 2項目 評価結果 (A)・B・C			